

2017 ムロオ 関西大学ラグビーAリーグ 第3節 メンバー表

2017/10/15
14:00 Kick Off
鶴見緑地球技場

摂南大学			天理大学		
合計	前半	後半	前半	後半	合計
			T		
			G		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
スコット・コンノルド(NZ協会)
アシスタントレフリー
佐々木 裕司(関西協会)
小原 淳一(関西協会)
宮崎 裕(関西協会)

摂南大学							
HC	内部昭彦						
No.	Pos.	氏名	学年	身長	体重	出身校	在籍学部
1	PR	原名健	3	176	100	伏見工業	法
2	HO	加賀領一	3	173	92	天理	法
3	PR	紺屋毅	3	170	101	京都成章	法
4	LO	瀬戸伊織	2	177	102	金光藤蔭	法
5	LO	タンギパ タリフォロフォラ	2	186	113	ケルストーン ボーイズ	法
6	FL	中村大雅	2	179	92	常翔学園	法
7	FL	浅田龍太	4	171	83	京都外大西	法
8	No.8	昇泰樹	3	175	83	常翔啓光学園	法
9	SH	西本隆滋	4	168	70	常翔学園	法
10	SO	山田吏樹	1	167	72	朝明	法
11	WTB	岡田寛人	2	170	72	京都成章	法
12	CTB	山口諒二	3	177	82	都島工業	法
13	CTB	トゥア・サミソニ	4	181	105	トンガカレッジ	法
14	WTB	藤井雄大	4	180	90	大阪桐蔭	法
15	FB	岡田翔	3	164	73	東海大仰星	法
16	Re.	マタエナ イエレミア	2	180	113	ケルストーン ボーイズ	法
17		帆風 悠我	2	170	91	大阪桐蔭	法
18		木屋暁貴	1	173	98	洛北	理工
19		河野知哉	2	182	97	山城	法
20		佐藤勇斗	3	172	84	報徳学園	法
21		三田村直輝	1	170	68	石見智翠館	法
22		丸田誠一	2	175	76	星林	法
23		ナイカブラ ジョネ	4	177	97	ケルストーン ボーイズ	法

天理大学							
監督	小松節夫						
No.	Pos.	氏名	学年	身長	体重	出身校	在籍学部
1	PR	加藤 滉紫	3	174	100	専大松戸	国際
2	HO	藤浪 輝人	4	169	98	伏見工	国際
3	PR	水野 健	4	178	110	天理	体育
4	LO	澤井 未倫	4	181	97	伏見工	国際
5	LO	由良 祥一	3	180	95	大産大付	体育
6	FL	岡山 仙治	2	168	85	石見智翠館	国際
7	FL	島根 一磨	3	175	98	天理	体育
8	No.8	ファウルア マキシ	3	185	112	日本航空石川	国際
9	SH	小畑 拓也	2	163	70	京都外大西	体育
10	SO	松永 拓郎	1	177	77	大産大付	体育
11	WTB	中野 豪	3	170	85	常翔啓光	人間
12	CTB	王子 拓也	4	180	84	天理	体育
13	CTB	シオサイア フィフィタ	1	187	110	日本航空石川	国際
14	WTB	坪井 翔	3	177	83	八幡工業	国際
15	FB	井関 信介	4	179	80	天理	体育
16	Re.	谷井 連太郎	4	165	96	天理	国際
17		西川 和真	4	176	115	天理	国際
18		木津 悠輔	4	180	110	由布	体育
19		藤井 秀人	4	178	95	大阪桐蔭	国際
20		フィシブナ トゥウイアキ	4	188	115	日本航空石川	国際
21		藤原 忍	1	170	70	日本航空石川	体育
22		棚橋 優大	4	172	80	花園	国際
23	久保 直人	3	174	76	天理	体育	

【摂南大学vs天理大学 の見どころ】

連敗スタートとなってしまう摂南大学、今節は何としても勝利を挙げたいところだ。
2節を終えて失点の多さが気になるところであり、ディフェンス面の修正がポイントとなる。
失点の原因のひとつにペナルティの多さも含まれており、アグレッシブにプレーするスタイルの中で、
どれだけ規律を守れるかが重要となってくる。アタック面では、どこからでも積極的に仕掛けてくる
スタイルが定着しており、その中で外国人選手が目立つ展開になっていけば主導権を握り、
勝利への期待が高まる。
迎え撃つ昨年度優勝校の天理大学は、これまで2連勝と危なげなく勝利している。2試合とも
ゲーム序盤は得点を重ねる事が出来なかったが、ゲーム終盤に畳み掛ける得点力は
チームの底力を示している。FWはセットプレー、モールと基本的な強さに加えてアグレッシブさ、
リアクションの早さが強みであり、BKは若いハーフ団、フィフィタの突破力、BK3の決定力と総合力が
高い。また、特筆すべき点としてDF力が挙げられ、2試合を終えて1トライしか奪われておらず
チームの安定感に繋がっている。天理大学に対して摂南大学が挑む形となるが、摂南のアタックが
天理のディフェンスを崩せるかが勝敗のポイントであり、見どころとなる。

(関西大学ラグビーリーグ委員 中林 正一)